

## 浜松市立南部中学校実践報告

### (1) 実践内容

○第1学年 Lesson5 Our New Friend (8時間)

○領域「書く」「話す」

Lesson5で疑問詞の who when where、代名詞の目的格を学ぶ。疑問詞が多く出てきたため、今までよりももっと具体的な部分を相手に聞くことができるようになる。Lesson5の最後にまとめとして、相手の話を聞いて終わってしまうのではなく、より具体的なところを聞き出すことができるような活動を加えた。また、聞き取った内容からどんな質問を考えることができるか、書く活動も入れた。

○指導方法

Step1 自分自身の1週間のスケジュールを書き、ペア活動でそれをいつどこでやるのかお互いに聞き合う。

Step2 集めた情報を英文にする。

Step3 グループ活動で、グループごとに芸能人になりきって近況を報告し、他のグループが、それを聞いてより具体的な質問をする。

Step4 新しいALTが来たという設定で自己紹介の文を聞き取り、具体的な質問を書く。

### (2) 成果・課題

「いつ」「どこで」やるのかという質問は作ることができるようになったが、その質問に答えることができない生徒がいた。特に場所を答えるときに、どの前置詞を使うのか困ってしまう様子が多く見られた。そのため、多くのパターンの答え方を事前に練習しておく必要があると感じた。よく使われる表現を中心に、繰り返し練習させるようにしたい。

今までは秘湯の質問に対して答えて終わってしまっていた会話が、具体的にさらに質問をすることで、会話が少し長く続くようになってきた。会話を楽しむ様子が見られるようになってきた。

## Lesson5 when where

1年（ ）組（ ）番 名前（ ）

ALTの自己紹介を読んで例を参考に、質問を5つ考えなさい。

Hello. My name is Brown. I'm from Australia. I like sports and music. I play baseball. And I sometimes play the guitar. Now, ※to talk with my students, I study Japanese. Thank you.

※to talk with my students, 生徒と話すために

(例) When do you play baseball?

1 \_\_\_\_\_

2 \_\_\_\_\_

3 \_\_\_\_\_

4 \_\_\_\_\_

5 \_\_\_\_\_